

小美玉市の歴史を知ろう34

埋められた浄土へのいのり

骨蔵器と経筒②

末法思想とは、お釈迦さまが説いた正しい教えが世で行われていた時代（正法）が過ぎると、次に外見だけが修行者に似るだけで悟る人がいない時代（像法）になり、その次には人も世も最悪となり正法が行われない時代（末法）が到来するという歴史観のことをいいます。

日本では、一〇五二年（永承七年）が末法元年とされ、五十六億七千万年後にお釈迦様の次にブツたになるとされた弥勒の世に経典を残すため、経塚が造営されるようになります。

十二〜十三世紀に造営された雷電山経塚（上玉里）からは、「経筒」とそれを入れる渥美産の壺などが出土しています。

中世になると、六十六部という納経活動が流行し、現世利益や追善供養の意味が加わります。六十六部とは、法華経を写写して全国の六十六か国の霊場に納経する巡礼行のことをいいます。この巡礼に従事する行者は、経典を入

れた「経筒」を土中に埋納して経塚をつくります。

山野犬塚前経塚の経筒の銘文からは、詳細な時代は不明ですが、越前国（福井県）の善長という人物が、法華経を写写して「経筒」に埋納したことが分かります。また、法華経の守護神である十羅刹女の名も刻まれています。

近世には、「経筒」を用いた経塚は衰退し、代わって扁平な石に経典の一字を写写し、それを大量に埋納する一字一石経石や、多数の文字を大型の礫に写写した礫経石を納める経塚が流行しました。

小美玉市内の一字一石経塚は、木船経塚（栗又四ヶ）、山野経塚、竹原中郷経塚などがあります。

そのなかでも、竹原中郷経塚には、享保十四年（一七二九）、鳳林院十七世の住職大空闡叟と親近の僧祥瑞が「大乘妙典」と「施餓鬼経」を写写して、納経したことを記念する供養塔が建立されました。



現在の雷電山経塚



雷電山経塚出土経筒



竹原中郷経塚供養塔



山野犬塚前経塚出土経筒



山野経塚出土一字一石経石

児童発達支援・放課後等デイサービス

石岡

送迎あり

8:00～19:00内
応相談

児童発達支援 対象：未就学児（2～6歳）	平日 9:00～13:00 土曜・祝日 10:00～16:00
放課後等デイサービス 対象：小学生～高校生	平日 放課後～17:30 土曜・祝日 10:00～16:00

〒315-0001 茨城県石岡市石岡2284-20

TEL:0299-57-3700

お気軽にお問い合わせ下さい。見学も随時受付中！

障害者就労継続支援 A型事業所

石岡市初の
就労支援A型
施設です♪

〒315-0017 茨城県石岡市若宮3-2-13

TEL:0299-56-4800

Mail: sb1@sashinoberte.co.jp

SBワークス石岡 ブログ

9:00～18:00まで営業！お気軽にお問い合わせ下さい！